

## アルツハイマー病も予防？



従来の睡眠薬には、どこかコワイところがある。で、毛嫌いされた。が、その新しい薬は、患者さんのほうが欲しがらる。なんか安全そうなのだ。イヤなら、簡単に止められそう。記憶にも影響はないらしい。という睡眠薬は、「ベルソムラ」のことである。

多くのひとは、睡眠薬は脳の活動を抑えるから、認知症になるかもと疑心暗鬼になる。だが、ベルソムラは、脳の活動を抑えない。抑える相手は、覚醒ホルモンだ。体内時計に同調して、夜には覚醒ホルモンのオレキシンが少なくなくなり、眠気がする。が、その量が減らないと不眠だ。そこで、ベルソムラで過剰なオレキシンの働きを抑え、眠気を誘うというわけだ。いっぽう、夜にオレキシン濃度が高いと、アルツハイマー病の原因になるタンパク質アミロイドβも蓄積しやすくなる。ベルソムラは、そのオレキシン濃度を下げ、夜間のアミロイドβ濃度を下げるといふデータもある。

## 夢の睡眠薬

ひょっとして、ベルソムラをのめば、ぐっすり眠れるうえ、アルツハイマー病の予防までしてもらえるかも。夢のような話だ。が、ワッシーは、ここで突然、あのスナップ細胞のことや、ある製薬会社のデータねつ造事件などを思い出してしまった。悲しいかな、ワ

ッシーのヘソは曲がっている。

医者にも、新薬が出るとすぐに使いたがるひとや、そうでないひとといる。ベルソムラは依存性も少ないので使いやすい。ふらつきもない。高齢者に向いている。だが、悪夢をはじめ、意外と副作用がある。また、効果が出やすいひととそうでないひとが極端に分かれる薬だ。うつ病やストレスで眠れないひとには向かない。

発売から、3年に満たない薬だ。もう少し、副作用や使い方の良し悪しを見極めてから使った方が良さそうだ。

(石黒修三 しいしぐるクリニック  
・脳神経外科専門医、金沢市在住)

## 副作用など見極めて